



令和2年9月15日(火)
幼保連携型認定こども園 津田このみ学園

0・1・2歳児

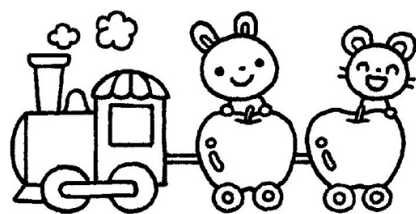
9がつ すくすくだより

大きな声でなっていたセミの声もいつの頃からかスズムシの音色に変わり、季節が進んでいることを感じます。とはいえ、日中の暑さはまだまだ残り、子ども達は園庭で汗びっしょりになって遊んでいます。

手洗い・消毒や健康観察など、感染症予防の対策がしっかりと行われていたためか、手足口病や胃腸炎・ヘルパンギーナなど夏の感染症にかかる子どもが例年よりかなり少なかったです。新しい生活スタイルにも戸惑いを感じましたが、健康な体を守るため、継続していきたいですね。

おねがい

涼しくなってくると散歩へ出かける機会が増えます。今一度、靴のサイズが子どもの足に合っているかご確認ください。歩きやすく、脱ぎ履きしやすい靴は自分でやってみようとする気持ちを高めます。新しく購入される際は試着をおすすめします。



【ひよこぐみ】

8月には毎日のようにセミ捕りをする年長児が、ひよこぐみの前を忙しく走り回り、捕まえたセミを見せてくれました。しかし、そのセミの声もしなくなり、少し寂しく感じていたところ、今度は違う鳴き声がひよこぐみに響き渡るようになりました。その正体はスズムシです!! 小さな細かい鳴き声はセミとは違い、静かにしないと聞こえません。ふとしたときに聞こえるスズムシの声に気付くと、「あ!」と目を丸くしたり「ムシないたな～」と保育者に知らせたりします。その度に「しーっ」と人差し指を立て、耳を澄ます仕草を見せます。虫の声と同時に季節の移り変わりを肌で感じています。

しーっ
きこえるかな?



♪わらべうたって、おもしろい～♪

古くから歌い継がれている『わらべうた』友達と手をつないで遊んだり、保育者にくすぐってもらったり、お昼寝のときの子守歌になったり・・・子どもたちの生活や遊びの中で自然と耳にしながらか心地よい雰囲気を感じています。



こんにちは



【りすぐみ】

『ジージーバー』

半透明で柔らかな布を前後に揺らし「ばあ」のタイミングで顔が見えると喜びます。いないいないばあをしている雰囲気遊びます。



ばあ!

『おじぞうさん こんにちは』

わらべうたにのせて頭の上においたお手玉を「こんにちは」という言葉のタイミングと同時に、頭をかがめて落とします。お辞儀をするとポトンと落ちるお手玉に大笑いします。

【あひるぐみ】

『ゆうびんはいたつ

えっさっさ』

わらべうたにのせてお手紙を友達に運びます。「どうぞ」と手渡されると思わず、にんまり顔を見せてくれます。



「なべなべそこぬけ」



先生や友達と
手をつなぐって
うれしいな

目と目があえば自然と笑顔がこぼれます。

『おてぶしてぶし』

どっちだ?のあてっこをする、わらべ歌です。軽快なリズムとちょっと不気味で面白い歌詞が子どもたちに大うけです。

♪おてぶしてぶし てぶしのなかに
へびのなまやけ かえるのさしみ
いっちょばこやるから まるめておくれ いや



わらべうたはゆったりとした雰囲気の中で、言葉を覚えたり、リズム感覚を高めたり、他の子との協調性を知ったり、人間関係を深めたり・・・いろんなことを遊びの中で学んでいます。